

令和8年度「小中一貫教育に関わる具体的な取組計画」

八王子市立恩方中学校

○恩方中学校グループ

(恩方第一小学校) (恩方第二小学校) (元木小学校) (恩方中学校)

グループにおける「9年間で育てたい児童・生徒像」及び「義務教育修了段階において育成すべき生徒像」

○よく考え、学ぶ児童・生徒

○心身ともに健康でたくましい児童・生徒

○自らの進路を切り拓く児童・生徒

「小中一貫教育の日」の取組（取組を全て記載）

1学期

5月20日（水） 会場（ 恩方中学校 ）

- ・分科会による小中一貫教育グループ校における児童・生徒の実態の把握・情報共有。
- ・四校管理職による全体構想の検討・点検・修正。

2学期

10月7日（水） 会場（ 恩方第二小学校 ）

- ・「9年間で育てたい児童・生徒像」に迫るための具体的な取組を小中学校で共有。
- ・小中一貫担当者会による、全体構想を受けた小中一貫教育の日の計画的運用について検討。

3学期

2月17日（水） 会場（ 元木小学校 ）

- ・分科会による「9年間で育てたい児童・生徒像」に迫るための具体的な取組の計画を立案。
- ・令和8年度の小中一貫教育の取組の総括と令和9年度の取組計画の立案。

【取組1】グループ内の児童・生徒が合同で行う活動

「着席チャイムの徹底と習慣づけ」授業の始まりのチャイムを着席した状態で聞くという取組を、小学校6年間で習慣化させる。児童は中学校に進学してから同じような指導を受けることで、小学校から継続して落ち着いた学校生活を送ることが期待できる。

【取組2】グループとしての「学力定着プロジェクトチーム」の取組

- ・市学力調査の結果を持ち合い、「読解力」と「書く力」および「計算力」の向上を目指した指導の方法について意見交換をする。
- ・小中学校の教科書を見比べながら、小学校ではどのように学んできたのか、中学校ではどのように学ぶのか、という視点をもつ。

【取組3】グループ内の児童・生徒に関する諸情報等を共通理解していくための取組

- ・小中一貫教育の日に授業参観を行い、児童・生徒の学習の様子を観察する。また、教科ごとの分科会を行い、児童・生徒のつまずきを共有し学力向上のための方策を検討する。

【取組4】地域と合同で行う活動

- ・引取訓練（6月10日（水））を小中学校で連携し合同実施する。これをもって災害時の地域との連携方法を検討する。保護者は、居住区から遠い位置にある中学校で子どもを引き取った後、小学校で引き取るという流れをつくる。